

## ご寄附の方法

### ◇ 個人および法人・団体の方

#### ① クレジットカード決済

取扱カード



東北大学基金ウェブサイトの寄附申込フォームより  
お手続きください。

※寄附お申込み入力画面にて、「寄附目的：東北大学を支援」  
「使途：DEI推進基金」をご選択ください。



#### ② 銀行振込

ウェブサイトからお申込み後、  
振込先の口座番号をご連絡いたします。  
取扱金融機関：みずほ銀行／七十七銀行／ゆうちょ銀行

#### ③ コンビニ決済

ウェブサイトの申込フォームにてお手続き完了後、  
お近くのコンビニでのお手続きが可能です。  
<コンビニ決済上限金額>  
・セブンイレブン、デイリーヤマザキ：49,000円以内  
・それ以外のコンビニエンスストア：299,000円以内

#### ④ 郵便振替

同封の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、ご  
利用ください。払込手数料は本学が負担いたします。

#### ⑤ Amazon Pay

Amazonアカウントをお持ちの方は、Amazonからの  
ご寄附も可能となりました。

### ◇ 法人・団体の方

手続き上書面が必要な場合は、「寄附予定書」をお送りいたしますので、下記基金事務局までご連絡ください。

## 感謝の気持ちを込めて

### ◆ 芳名の掲載

「東北大学基金寄附者芳名帳」、「東北大学基金ウェブサイト」  
および「DEI推進センターウェブサイト」に掲載いたします。

### ◆ 賞の贈呈

ご寄附の総額に応じて賞を贈呈させていただきます。

種別	個人	法人・団体
荣誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上

### ◆ 功績賞以上の賞を受けられた寄附者さまへの特典

#### ① 寄附者顕彰銘板への芳名の掲載

東北大学片平キャンパス内エクステン  
ション教育研究棟に設置している「東  
北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載さ  
せていただきます。

#### ② 「感謝のつどい」へのご招待

総長をはじめとした本学関係者との交  
流・意見交換を目的とした「東北大学基  
金感謝のつどい」へご招待いたします。

#### ③ 東北大学校友会

プレミアム会員としての特典  
広報誌の送付、大学主催のイベン  
トへご招待いたします。

### ◆ 返礼品の贈呈

コーヒー、お茶、しおり、のいずれか1つお選びいただけます。また、寄附金額に応じ下記の特別返礼品をお送り致します。

### 事業に関するお問い合わせ

東北大学 DEI 推進センター  
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1  
TEL / 022-217-6092  
Email / dei-center@grp.tohoku.ac.jp  
http://dei.tohoku.ac.jp



### 寄附に関するお問い合わせ

東北大学基金事務局（東北大学総務企画部基金・校友事業室内）  
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1  
TEL / 022-217-5058 / 5905  
Email / kikin@grp.tohoku.ac.jp  
https://www.kikin.tohoku.ac.jp/



## 東北大学基金

# ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン (DEI)

へのご支援のお願い



わたしらしく、あなたらしく。“誰もが輝ける”大学を目指して。



東北大学

東北大学は、現在のみならず未来の人類の幸福を目指した新たな価値創造へ向けて  
多様性・公正性・包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion: DEI) を推進します。

## 女子大生誕生の地・東北大学

みなさんは日本で初めての女子大生が東北大学で誕生したことをご存じでしょうか？東北大学は今から100年以上も前、1913年に3名の女子学生(黒田チカ、丹下ウメ、牧田らく)の入学を許可しました(当時は東北帝国大学)。当時、女子の大学への入学は認められておらず、文部省(現在の文部科学省)から帝国大学へ本当に入学を許可するのかと問いただす文書が送付されたほか、全国紙の新聞にも取り上げられるなど、大きな波紋を引き起こしました。しかし、国内外から多くの優秀な学生を集めるため、先駆的な「門戸開放」の理念を掲げた初代総長の澤柳政太郎の精神を受け継いだ第2代総長北條時敬は、前例のない女子学生の入学許可を断行しました。110年以上経過した今なお色あせることがない建学の理念は、2022年4月5日に第22代総長大野英男が発した、多様性(Diversity)、公正性(Equity)、包摂性(Inclusion)を理念とする東北大学DEI推進宣言へと引き継がれ、大きく発展しています。

※ケルセチン…タマネギの外皮などに含まれるポリフェノール的一种。  
血圧降下剤や特定保健用食品(トクホ)などに広く応用されている。



黒田チカ



丹下ウメ



牧田らく



特設サイト

## 東北大学におけるダイバーシティ推進の歩み

1913	日本で初めて女子学生の入学を許可	2008	グローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」が採択(実施期間:5年)
1916	日本初の女性学士誕生(黒田チカ・牧田らく)	2009	2つ目の学内保育施設「星の子保育園」開設
1918	日本初の女性大学院生誕生(丹下ウメ)	2013	東北大学女子学生入学100周年記念事業を展開/東北大学における男女共同参画推進のための行動指針を発信
1923	日本初の文系(法文学部)女子学生入学	2014	男女共同参画推進センター開所
1999	「男女共同参画社会基本法」の制定	2018	「東北大学ビジョン2030」でダイバーシティ、インクルージョンの理念を表明 星陵地区の「星の子保育園」がリニューアル
2001	男女共同参画委員会設置 病後育児保育「星の子ルーム」開設	2022	全国に先駆け東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進宣言を発出
2002	男女共同参画に関する東北大学宣言	2023	男女共同参画推進センターをDEI推進センターに改称
2003	法学研究科21世紀COE拠点採択(実施期間:5年) 「ジェンダー法・政策研究センター」開設		
2005	初の学内保育園として「川内けやき保育園」開設		
2006	「サイエンス・エンジェル(現サイエンス・アンバサダー)制度」誕生 「社の都女性科学者ハードリング支援事業」(実施期間:3年)		

## 東北大学DEI推進宣言(一部抜粋)

東北大学は、世界が大きな変革期を迎える中、本学が誇る多様な知を総結集し、現在のみならず未来の人類の幸福を目指して新たな価値の創造へ向けて挑戦し続けるために、以下の方針に基づき、多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion: DEI)を推進します。

1. 東北大学は、ジェンダー・ギャップの解消のために、各分野における女性教職員や女子学生の比率を把握し、現状と女性活躍推進度の可視化に努めます。それを基に、女性教職員の積極的な採用や上位職への登用、若手の育成などを全学的に行い、ジェンダー・パリティを追求します。

2. 東北大学は、様々な多様性を実現するために、全ての学生・教職員が、尊厳を認め、個性を尊重し、相互を理解して、学修・教育・研究・業務に専念できるようにします。そのために、性別、ジェンダー、性自認・性的指向、年齢、障がい、民族、国籍、宗教、信条などに関わる無意識のバイアスを払拭する啓発活動を実施し、意識改革を行います。

3. 東北大学は、学内の調査・分析に基づき、全ての学生・教職員が各人の能力を最大限発揮できる公正性が保障された環境を提供し、多様な属性・個性を持つ構成員の誰もが歓迎、支援、評価される包摂性に富む組織を実現します。

誰もが自分らしく  
活躍できる未来を創るため、  
ご支援をお願いいたします。

多様な人材がその能力を最大限に発揮できる環境をより高い次元で実現させることは、新たなイノベーション創出のための土台となります。本学ではその実現のためDEI推進の取組を加速させてまいりたいと考えています。皆様からの力強いご支援をお願いいたします。

※いただいたご寄附は「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進基金」として活用させていただきます。

## 基金の活用例

### 女性研究者育成として 女子学生を支援しています。

#### 【サイエンス・アンバサダー活動】

2006年、自然科学系女子学生の育成のために全国で初めて組織されたサイエンス・アンバサダー(前サイエンス・エンジェル)の活動に基金を使わせていただいております。現在は、自然科学系だけでなく、人文・社会科学系の女子大学院生も、そして性自認が女性である方も活動しています。これまで延べ1000名を超える学生さんが活動し、年間を通して次世代向け進路セミナーや科学イベントを開催しています。

#### 【女子大学院生国際学会発表支援】

女子大学院生の国際学会発表に必要な経費を支援します。

### 感謝の声・活躍の声

〈サイエンス・アンバサダー OG〉

科学イベント、番組制作、シンポジウムへの参加など、実に多岐にわたる活動に参画してきました。自身の研究をより深く理解する力や人に伝える楽しさを知り、さまざまな人との出会いを通じて視野を広げ、思考する機会を持ち、1つ1つの活動から得たフィードバックは自身の成長につながるかけがえのないものとなっています。今後はSAOGとして、アカデミアの明るい未来へと貢献していきたいと思っています。



2023年3月  
歯学研究科 修士  
中澤 典子さん

### 研究と育児・介護の両立を 支援しています。

#### 【研究支援要員】

出産、育児、介護などを理由に研究を断念することがないよう、男女問わず、必要に応じて研究支援要員を雇用できるように補助します。



### 感謝の声・活躍の声



流体科学研究所  
焼野 藍子先生

一人目の出産&育児で、右も左も分からない中、支援制度のおかげで、東北大学から背中おされるように頑張ることができました。支援制度により雇用できた技術職員やスタッフの皆さんのおかげで、毎日時間を大切に使うことができました。妊娠中から執筆していた論文が複数採択され、文部科学大臣表彰「若手科学者賞」などの受賞にもつながりました。妊娠前以上に頑張ることができたのは、このような制度のおかげだと思います。

### 女性とマイノリティのための 「DEIあんしんPROJECT」を 進めます。

基金を活用して、全ての学生・教職員が、尊厳を認め、個性を尊重し、相互を理解して、学修・教育・研究・業務に専念できるように大学環境を整えていきます。

学内のトイレに生理用ナプキンを設置▶

